

2012年3月23日

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
支部長 大橋 守  
平成23年度支部長 山田 茂

平成23年度中国・四国支部総会・決算報告  
並びに平成24年度事業計画、収支予算送付の件

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当支部につきましては、日頃格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、去る3月22日「平成24年度定期総会」を広島経済大学立町キャンパスにおいて開催し、標記につき審議承認されましたので、ここに同書類を同封にてお届け致します。

#### 審議・報告事項

1. 平成23年度支部事業報告（資料1）
2. 平成23年度支部定例シンポジウム、支部研究部会、および支部申請事業・会計報告（資料2）
3. 平成23年度決算報告と監査報告（資料3）
4. 平成23年度支部役員の選出（資料A）
5. 平成24年度支部事業および予算（資料B）
6. H24年度支部研究部会趣意書（資料C）
7. 平成23年度（第4回）中国・四国支部長賞受賞者（資料C）

つきましては、何卒ご高覧のうえ、今後一層のご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

敬具

# 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部 平成24年度 総会

日時：平成24年3月22日（木） 16：00—16：50

場所：広島経済大学 立町キャンパス（広島市中区立町 2-25）

## 式次第：

開会

挨拶 支部長

議事

1. 事業および会計報告
  - ・事業報告（資料1）
  - ・支部関連事業報告（資料2）
    - 【シンポジウム：1件】  
支部定例シンポジウム
    - 【支部研究部会：2件】  
「SCM&サービス工学」研究部会  
「地方都市の数理解析」研究部会
  - ・会計報告（資料3）
  - ・会計監査報告
2. 平成24年度支部役員（案）（資料A）
3. 平成24年度事業計画および予算（案）（資料B-1, 資料B-2）
4. その他
  - ・H24支部研究部会趣意書
    - ・「SCM&サービス工学」研究部会（資料C-1）
    - ・「地方都市の数理解析」研究部会（資料C-2）
  - ・平成23年度（第4回）中国・四国支部長賞表彰者（資料C-3）
  - ・その他

閉会

## 中国・四国支部 平成23年度事業報告

### 総会

第1回 日時：平成23年3月25日（金）14:45～15:45

会場：RCC文化センター（〒730-0015 広島市中区橋本町5-1）

議題：(1)平成22年度事業報告・決算報告

(2)平成23年度支部役員選出

(3)平成23年度事業計画・予算計画

その他

### 運営委員会

第1回 日時：平成23年3月25日（金）13:45～14:30

会場：RCC文化センター（〒730-0015 広島市中区橋本町5-1）

議題：(1)平成22年度事業報告・決算報告

(2)平成23年度支部役員選出

(3)平成23年度事業計画・予算計画

第2回 日時：平成23年12月26日（月）17:00～17:50

会場：鯉城会館（〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3）

議題：(1)平成23年度活動報告・決算報告（案）

(2)平成24年度支部役員（案）

(3)平成24年度活動予定・予算（案）

### 支部懇親会

第1回 日時：平成23年3月25日（金）18:00～20:00

会場：京もみじ（〒732-0824 広島県広島市南区的場町1-1-25 ホテルセンチュリー21広島11F）

第2回 日時：平成23年12月26日（金）18:00～20:00

会場：鯉城会館（〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3）

### 支部定例シンポジウム

日時：平成23年10月28日（金）14時30分～17時20分

会場：鳥取大学大学院工学研究科 大学院棟2F SCS教室  
(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)

組織：実行委員長 山田 茂（鳥取大学大学院工学研究科・教授）

実行委員 井上 真二（鳥取大学大学院工学研究科・助教）

テーマ：社会システムにおけるOR（OR学生シンポジウム）

プログラム：

基調講演 14:30—15:05

福島利彦 氏 ((株)日新システムズ 品質保証マネージャ、博士(工学))

題目：定量的基準に基づくソフトウェア品質とプロセスの評価とその効果

一般発表

15:05—15:30

新垣久史○、石井晃 (鳥取大学) : ヒットの数理モデルと話題共鳴分析の可能性

15:30—15:55

一ノ瀬祐樹○、山田茂 (鳥取大学) : ソフトウェアプロセス改善のための統計的データ分析に関する研究：プロセス監視と設計品質評価によるプロジェクトの定量的評価

15:55—16:05 休憩

16:05—16:30

宮本慎也○、谷本圭志 (鳥取大学) : 道路舗装と下水道管路の集合的維持管理に関するモデル分析

16:30—16:55

内田智也○、小柳淳二、河合一 (鳥取大学) : 高速道路での電気自動車充電台数分布に関する研究

16:55—17:20

羅貞一○、福山敬 (鳥取大学) : メラピ火山地域コミュニティにおける参加型防災行動計画のための四面会議システムの実践的な適用

17:20 閉会の挨拶

## 講演会

第1回 日時：平成23年3月25日（金）16:00～16:50

会場：RCC文化センター 609会議室 (〒730-0015 広島市中区橋本町5-1)

演題：人との出会いを振り返ると

講師：亀山 嘉正 氏 (岡山県立大学情報工学部・教授)

世話人：山田 茂 (鳥取大学)

第2回 日時：平成23年8月3日(水) 12:50～14:20

会場：広島大学工学部A1棟C1-112 (〒739-8511東広島市鏡山1-4-1)

演題：Solving Renewal Integral Equations, a problem with the reliability of software

講師：Dr. Xie Min (Professor, The City University of Hong Kong)

世話人：土肥 正 (広島大学)

第3回 日時：平成23年11月28日(月) 13:30～14:30

会場：広島大学工学部A1棟C1-112 (〒739-8511東広島市鏡山1-4-1)

演題：Customer-Perceived Software Reliability: Measurement, Prediction, Application

講師：奥本 和平 氏 (Alcatel/Lucent Technologies, USA)

世話人：土肥 正 (広島大学)

第4回 日時：平成24年1月24日(火) 16:30～17:45

会場：鳥取大学工学部社会開発システム工学科 都市計画ゼミ室

(〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101)

演題1：Tackling Climate Change: A System of Systems Engineering Perspective

演題2：Fulfillment and Success in Research

講師：Keith W. Hipel 氏 (University Professor, University of Waterloo, Canada)

司話人：福山 敬（鳥取大学）

「SCM&サービス工学」研究部会（平成23年度支部研究部会）

（主査：上野信行（県立広島大学），幹事：韓虎剛（県立広島大学），谷崎隆士（近畿大学），堂本絵理（広島経済大学））

第1回 日時：平成23年10月1日（土）14時00分～17時30分

会場：広島経済大学立町キャンパス

（広島市中区立町2-25 IG石田学園ビル（旧広島ロプロビル））

共催：日本経営システム学会 中国四国支部

日本OR学会「食料・農業・環境における意思決定」研究部会

協賛：日本機械学会中国四国支部

講師：三上隆司 氏（株式会社 サタケ 技術本部 総合技術開発室）

演題：機器によるコメの美味しさ評価の現状

講師：登地 敬 氏（株式会社中国新聞社 経営企画局 メディア開発部）

演題：独自SNSに可能性はあるか？

講師：三田衛一 氏（株式会社ビーコンエヌシー 取締役）

演題：クラウドコンピューティング～現状と将来

第2回 日時：平成24年2月18日（土）14時00分～17時30分

会場：ひろしまハイビル21（広島市中区銀山町3-1）

共催：日本経営システム学会 中国四国支部

日本オペレーションズ・リサーチ学会ORサロン

講師：谷崎隆士 氏（近畿大学工学部情報システム工学科・教授 兼

次世代基盤技術研究所サービス工学研究センター教授）

演題：中国地方におけるサービス産業生産性向上への取り組み

講師：塩川 哲也 氏（XEROX Corporation 在日代表、富士ゼロックス（株）監査役）

演題：サービスイノベーションー米国ゼロックス社の戦略とリーダーシップー

「地方都市の数理解析」研究部会（平成23年度支部研究部会）

（主査：福山敬（鳥取大学），幹事：谷本圭志（鳥取大学），小柳淳二（鳥取大学），佐藤毅（鳥取大学））

第1回 日時：平成23年11月14日(月) 16:00～18:30

会場：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室

（〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101）

演題：Social responsibility allocation in two-echelon supply chains

講師：Dr. Kevin W. Li (Associate Professor, Management Sciences, Odette School of Business, University of Windsor)

演題：社会ネットワークの安定性と情報拡散

講師：猪原健弘 氏（東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻・教授）

第2回　日時：平成24年2月2日(木) 16:30～17:30

会場：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室

(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)

演題：Spatial Analysis of Population Decline: Firm Delocation in a Linear Market

講師：安藤朝夫 氏（東北大学大学院情報科学研究科・教授）

第3回　日時：平成24年3月2日(金) 13:30～14:30

会場：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室

(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)

演題：Towards Economic Independence

講師：Dr. Anil Prakash Joshi 氏（HESCO: Himalayan Environmental Studies and Conservation Organization, India）

### 協賛・共催研究会等

1. 協賛：The Fourth Japan-Korea Software Management Symposium

平成23年11月18日（金），Chonbuk National University／大韓民国・全州市

（実行委員長：山田 茂（鳥取大学））

# 平成23年度支部定例シンポジウム ～社会システムにおけるOR（OR学生シンポジウム）～ 【平成23年度中国・四国支部支部運営費】活動報告

## 1. 活動内容

日時： 平成23年10月28日（金）14時30分－17時20分

会場： 鳥取大学大学院工学研究科 大学院棟2F SCS教室  
(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)

組織： 実行委員長 山田 茂（鳥取大学大学院工学研究科・教授）  
実行委員 井上 真二（鳥取大学大学院工学研究科・助教）

プログラム（予定）

基調講演：

14：30－15：05

福島利彦 氏（（株）日新システムズ 品質保証マネージャ、博士（工学））

題目：定量的基準に基づくソフトウェア品質とプロセスの評価とその効果

一般発表

15：05－15：30

新垣久史○、石井晃（鳥取大学）：ヒットの数理モデルと話題共鳴分析の可能性

15：30－15：55

一ノ瀬祐樹○、山田茂（鳥取大学）：ソフトウェアプロセス改善のための統計的データ分析に関する研究：プロセス監視と設計品質評価によるプロジェクトの定量的評価

15：55－16：05 休憩

16：05－16：30

宮本慎也○、谷本圭志（鳥取大学）：道路舗装と下水道管路の集合的維持管理に関するモデル分析

16：30－16：55

内田智也○、小柳淳二、河合一（鳥取大学）：高速道路での電気自動車充電台数分布に関する研究

16：55－17：20

羅貞一○、福山敬（鳥取大学）：メラピ火山地域コミュニティにおける参加型防災行動計画のための四面会議システムの実践的な適用

17：20 閉会の挨拶

## 2. 会計報告

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
平成23年度支部定例シンポジウム 会計報告

自 平成23年10月25日  
至 平成24年2月29日

番号	日付	費目	摘要	収入	支出	残高	備考
01	2011/10/25	入金	支部定例シンポジウム費	55,000		55,000	支部運営費
02	2011/10/28	講演費	講演謝金		11,111	43,889	福島利彦 氏((株)日新システムズ)
03	2011/10/28	講演費	講演謝金		11,111	32,778	新垣久史 氏(鳥取大学大学院)
04	2011/10/28	講演費	講演謝金		11,111	21,667	羅貞一 氏(鳥取大学大学院)
05	2011/10/28	講演費	講演謝金		5,555	16,112	一ノ瀬祐樹 氏(鳥取大学大学院)
06	2011/10/28	講演費	講演謝金		5,555	10,557	宮本慎也 氏(鳥取大学大学院)
07	2011/10/28	講演費	講演謝金		5,555	5,002	内田智也 氏(鳥取大学大学院)
08	2012/02/03	事務費	アルバイト謝金		5,002	0	南野友香 氏(鳥取大学大学院)

実施報告、会計報告、明細、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名 西山竜一 印

署名 内田智也 印

## 「SCM&サービス工学」研究部会【平成23年度中国・四国支部運営費】活動報告

(主査：上野信行（県立広島大学），幹事：韓虎剛（県立広島大学），谷崎隆士（近畿大学），堂本絵理（広島経済大学）)

### 1. 実施報告

#### 1. 1 第1回研究会

日時：平成23年10月1日（土）14：00～17：30

場所：広島経済大学立町キャンパス

（住所：広島市中区立町2-25 IG石田学園ビル（旧広島ロプロビル））

共催：日本経営システム学会中国四国支部、

日本OR学会「食料・農業・環境における意思決定」研究部会

協賛：日本機械学会中国四国支部

内容：

(1) 14：00～14：10

挨拶 上野 信行（県立広島大学経営情報学部 教授）

(2) 14：10～15：10

題目「機器によるコメの美味しさ評価の現状」

三上 隆司（株式会社 サタケ 技術本部 総合技術開発室）

概要

日本人の主食で、唯一自給できる穀物であるコメの美味しさを数値化し、その評価値を使用して一定の美味しさのコメを顧客に届けることはコメ業界において重要なことである。この技術は、外食産業の和食店、洋食店、寿司店、丼店などの「コメの向け先」を客観的に決定できるので業界にとって有益なことと判断している。今回、弊社で開発してきた機器の紹介とその利用法などについて報告する。

(3) 15：25～16：05

題目「独自SNSに可能性はあるか？」

登地 敬（株式会社中国新聞社 経営企画局 メディア開発部）

概要

弊社は3月、コミュニティサイト「ちゅーピーむら」(<http://chupea-mura.jp/>)を開設した。facebookやmixiとほぼ同じ機能を備え、無料で登録・利用できる点も共通している。こうしたサイトはSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）と呼ばれる。facebookが7億人を超える会員を抱え、すでに「世界標準」のような存在になっている。この状況下で、独自に開くSNSにどのような可能性があるのか、現場の試行錯誤を報告する。

(4) 16：20～17：20

題目「クラウドコンピューティング～現状と将来」

三田 衛一（株式会社ビーコンエヌシー 取締役）

概要

企業や団体でのインターネット利用が一般化・多様化し、いつでもどこでもだれでもインターネット上の情報資源を利用できる環境が整いつつある。そのような状況下「クラウド・コンピューティング」への関心が高まり、同種の技術を活用したインターネット関連サービスが企業や団体、自治体まで普及している。本研究では自治体と医療現場での導入事例の紹介を中心に「クラウド・コンピューティング」

の現状と将来を概観する。

(5) 17:20~17:30

挨拶 鹿内 健志 (琉球大学農学部 准教授)

出席者:約25名

## 1. 2 第2回研究会

日時:平成24年2月18日(土) 14:00~17:30

場所:ひろしまハイビル21 (住所:広島市中区銀山町3-1)

主催予定:

- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会中国四国支部  
「SCM&サービス工学研究部会」
- ・日本経営システム学会 中国四国支部
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会ORサロン

内容:

(1) 14:00~14:10

挨拶 上野 信行 (県立広島大学経営情報学部 教授)

(2) 14:10~15:40

題目「中国地方におけるサービス産業生産性向上への取り組み」

谷崎 隆士氏 (近畿大学工学部情報システム工学科 教授 兼  
次世代基盤技術研究所サービス工学研究センター 教授)

概要

近年、わが国の経済成長の名目GDPと雇用に占めるサービス産業の割合が年々増加し、その重要性が高まってきている。しかし、製造業と比べサービス産業の生産性が低いことから、サービス産業の生産性向上がわが国の政策課題とされ、産官学で様々な取り組みがなされている。

今回の報告では、中国地方におけるサービス産業生産性向上への取り組み状況ほかの事例に基づき、

- ・サービス産業の生産性向上と製造業の生産性向上の相違点
- ・サービス産業の生産性を向上するためのポイントなどについて、紹介する。

(3) 16:00~17:30

題目「サービスイノベーションー米国ゼロックス社の戦略とリーダーシップー」

塩川 哲也氏 (XEROX Corporation 在日代表, 富士ゼロックス(株)監査役)

概要

2009年より米国ゼロックス社はハードウェア製造・販売からサービス企業へと大きく変革を遂げています。それはまさに、会社の文化や歴史的なあり方すらも根幹から変えるtransformation そのものでした。イノベーションとしてのサービスがどうゼロックス社で育まれ、実践されていったか?またどのようなチャレンジに遭遇し、それをどう乗り越えたのか?そこには明確なビジョンに裏打ちされた企業戦略とトップの強力なリーダーシップが不可欠であることは言うまでもありません。サービスイノベーションへの道筋をゼロックス社がどう歩んで行ったかを、同社の戦略とトップのリーダーシップを視座に紐解いて行きます。

出席者:約25名

## 2. 会計報告

	決算	備考
(収入の部)		
支部交付金	30,000	
収入合計①	30,000	
(支出の部)		
講演謝金（10月1日）	22,222	@11,111×2
講演謝金（2月18日）	5,555	@5,555×1
その他	2,223	研究会お茶代、事務経費等
支出合計②	30,000	
残高（①-②）	0	

実施報告、会計報告、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名 西山奇一郎 印  
 署名 中西一成 印

## 「地方都市の数理解析」研究部会【平成23年度中国・四国支部運営費】 活動報告

(主査：福山敬（鳥取大学），幹事：谷本圭志（鳥取大学），小柳淳二（鳥取大学），佐藤毅（鳥取大学）)

### 1. 実施内容

#### 第1回：

日 時：11月14日(月) 16:00--18:00  
場 所：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室  
(〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101)

#### プログラム：

**16:00—16:05** 開会の挨拶（主査：福山敬）

**16:05—17:00** Dr. Kevin W. Li

Associate Professor, Management Science, Odette School of Business, University of Windsor  
「Social responsibility allocation in two-echelon supply chains」

#### 概要：

This presentation discusses social responsibility allocation in a two-echelon supply chain, consisting of an upstream supplier and a downstream firm that are bound by a wholesale price contract. Social performance of the whole supply chain is gauged by a global variable and the associated cost is only incurred at the supplier's side with an expectation of being shared with the firm via the wholesale price contract. The key issue is to determine who should be allocated as the responsibility holder with the right of offering the contract and how this right should be appropriately restricted. Game-theoretical analyses are carried out to derive equilibriums. Comparative institutional analyses are then conducted to determine the optimal social responsibility allocations based on both economic and social performance criteria. The key findings are threefold: 1. The optimal social responsibility is to assign the supplier as the responsibility holder; 2. Inherent conflict exists between the economic and social performance criteria and they cannot achieve maximum simultaneously; 3. Although integrative channel profit is not attainable, the system-wide profit will be improved by implementing optimal social responsibility allocation schemes.

**17:00—17:55** 猪原健弘

東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻 教授

「社会ネットワークの安定性と情報拡散」

#### 概要：

本発表では、社会ネットワークの安定性とそこから導かれる社会ネットワークの構造、そして、社会ネットワークの中での情報伝播の範囲の間の関係について論じる。ここでは、社会ネットワークを「情報」と「情報源」からなるものとして捉え、また、情報源は、重要なものとそうでないものに区別されて扱われる。さらに、社会ネットワークにより、情報源が情報や他の情報源に対して持つ「信頼／不信頼」の関係を表現する。本発表では、社会ネットワークの安定性の条件として「ハイダーの意味での安定性」と「ニューカムの意味での安定性」を扱い、安定な社会ネットワークにおける情報伝播の範囲について分析する。分析の結果として、

ハイダーの意味での安定性が達成されている社会ネットワークにおいてよりも、ニューカムの意味での安定性が達成されている社会ネットワークにおいての方が、社会ネットワークの全範囲に伝播する情報が存在する傾向が高いことを示す。

### 17:55-18:00 閉会の挨拶（主査：福山敬）

#### 第2回：

日 時：平成24年2月2日（木）16時30分～17時30分  
 場 所：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室  
 （〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101）

講演題目：Spatial Analysis of Population Decline: Firm Delocation in a Linear Market

講師：安藤朝夫（東北大学大学院情報科学研究科・教授）

概要：In Japan, population decline has become the most serious social issue as it will become increasingly difficult to maintain the level of services as before. Classic models of location theory basically investigate the spatial allocation of supply bases under given population distribution. However, with declined population, "delocation" models, which can handle relocation and withdrawal of existing bases, will be required at least in a short term. This study considers a universal service, such as postal service, and discuss whether keeping the previous level of service is compatible with consolidation of service bases. First, the number and locations of firms are determined through monopolistic competition in a bounded line market, over which population is uniformly distributed. Then the effects of population decline are examined concerning the first best case, where relocations of existing bases are possible, and the second best case, where the integrated firm can only choose which bases to maintain. When the uniform population distribution is assumed to continue, an income subsidy may be a practical way to compensate the spatially uneven level of services. Possibility of subsidization, financed by the differential rent accrued from the increased centrality of surviving bases, is examined, along with the future direction of the study.

#### 第3回：

日 時：平成24年3月2日（金）13時30分～14時30分（開催日延期のため）  
 場 所：鳥取大学工学部社会開発システム工学科棟3F 3512室  
 （〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101）

講演題目：Towards Economic Independence

講師：Dr. Anil Prakash Joishi (Himalayan Environmental Studies and Conservation Organization, India)

概要：Dr.Joshiが率いているHESCOの活動を通じた地域活性化のための取り組みの紹介になります。紹介されている活動内容は、多岐にわたっていますが、主なものをリストアップすると、下記になります。

- 地元の農産物の活用した、新しい製品づくり（たとえば、お寺の供物を、地元のもので作って、売るという試み）
- 農村における小規模ビジネスの創出（たとえば、パン屋さん、フルーツジュースづくりなど）
- 未活用の生物資源の活用（Lantanaという植物や竹などを利用した家具生産、薬草など）
- 小規模発電や、太陽エネルギーの利用

## 2. 会計報告

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部

研究部会「地方都市の数理解析」会計報告

自 平成23年10月25日

至 平成24年2月29日

番号	日付	費目	摘要	収入	支出	残高	備考
01	2011/10/25	入金	「地方都市の数理解析」	30,000		30,000	
02	2011/11/14	講演費	講演謝金		11,111	18,889	猪原健弘氏(東京工業大学)
03	2011/11/14	講演費	講演謝金		12,500	6,389	Dr. Kevin W. Li (University of Windsor)
04	2012/02/02	講演費	講演謝金		6,389	0	安藤朝夫(東北大学大学院)

実施報告、会計報告、領収書を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名 西山吉一郎 印

署名 橋本義久 印

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
平成23年度会計報告書

自 平成23年3月 1日  
至 平成24年2月29日

## 平成23年度収支決算書（総合）

科目	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部運営費関係			
本部交付金	250,000	250,000	
普通預金利息	0	31	
支部事業費関係			
本部交付金	0	0	
その他	0	0	
収入小計	250,000	250,031	
(支出の部)			
支部運営費関係	250,000	250,031	
支部事業費関係	0	0	
支出合計	250,000	250,031	
当期運営残高	0	0	
前期繰越金	0	0	

## 貸借対照表 平成24年2月29日現在

借方			
科目	金額	科目	金額
現金	0	前期繰越金	0
普通預金	0	当期運営残高	0
合計	0	合計	0

会計帳簿、領収書、通帳、残高証明書等を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名 西山一郎 印

署名 橋本義文 印

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
平成23年度会計報告書(費目別)

自 平成23年3月 1日  
至 平成24年2月29日

## 平成23年度収支決算報告書(支部運営費)

	予算	決算	備考
(収入の部)			
本部交付金	250,000	250,000	
普通預金利息	0	31	
収入合計	250,000	250,031	
(支出の部)			
会議費	34,000	32,466	
講演会費	48,000	48,611	
部会費	60,000	60,000	
シンポジウム費	55,000	55,000	
通信運搬費	16,000	7,640	
事務費	17,000	36,314	
協賛費	20,000	10,000	
その他	0	0	
支出合計	250,000	250,031	
当期運営残高		0	

## 平成23年度収支決算報告書(支部事業費)

	予算	決算	備考
(収入の部)			
支部事業費	0	0	
収入合計	0	0	
(支出の部)			
	0	0	
支出合計	0	0	
当期運営残高		0	

会計帳簿、領収書、通帳、残高証明書等を監査した結果、適切に処理されていることを確認致しました。

署名

西山奇一郎

印

署名

橋上敬

印

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部  
平成23年度会計明細

自 平成23年3月1日  
至 平成24年2月29日

番号	日付	費目	摘要	支部運営費			支部事業費			総合残高	備考
				収入	支出	残高	収入	支出	残高		
0001	H22.3.10	交付金	支部運営費	250,000		250,000	0		0	250,000	
0002	H23.3.2	事務費	残高証明書発行手数料		525	249,475			0	249,475	山陰合同銀行
0003	H23.3.25	会議費	支部第1回運営委員会、総会、講演会会場費	11,600	237,875			0	0	237,875	RCC文化センター
0004	H23.3.25	講演会費	講演謝金(第1回支部講演会)	11,111	226,764			0	0	226,764	亀山先生(岡山県立大学)
0005	H23.3.28	通信運搬費	源泉徴収振込手数料	420	226,344			0	0	226,344	山陰合同銀行
0006	H23.7.21	通信運搬費	現金書留用封筒		20	226,324			0	226,324	郵便局
0007	H23.7.21	通信運搬費	現金書留送料(第2回支部講演会講演謝金)	500	225,824			0	0	225,824	郵便局
0008	H23.8.3	講演会費	講演謝金(第2回支部講演会)	12,500	213,324			0	0	213,324	Professor M. Xie (CUHK)
0009	H23.8.11	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	212,904			0	212,904	山陰合同銀行
	H23.8.21	利子	預金利子	18		212,922			0	0	212,922
0010	H23.10.25	通信運搬費	現金書留用封筒		20	212,902			0	0	212,902
0011	H23.10.25	通信運搬費	現金書留送料(第3回支部講演会講演謝金)	500	212,402			0	0	212,402	郵便局
0012	H23.10.25	シンポジウム費	定例シンポジウム	55,000	157,402			0	0	157,402	山田茂先生(鳥取大学)
0013	H23.10.25	研究部会費	研究部会「地方都市の教理解析」	30,000	127,402			0	0	127,402	福山敏先生(鳥取大学)
0014	H23.10.31	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	126,982			0	0	126,982
0015	H23.11.15	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	126,562			0	0	126,562
0016	H23.11.27	協賛費	第4回日韓ソフトウェアネジメントシンポジウム	10,000	116,562			0	0	116,562	山田茂先生(鳥取大学)
0017	H23.11.28	講演会費	講演謝金(第3回支部講演会)	12,500	104,062			0	0	104,062	奥木和平氏(Alcatel/Lucent Technologies)
0018	H23.12.1	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	103,642			0	0	103,642
0019	H23.12.15	会議費	運営委員会・事務局交通費援助		16,666	86,976			0	0	86,976
0020	H23.12.15	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	86,556			0	0	86,556
0021	H23.12.26	会議費	第2回支部運営委員会(お茶代)	4,200	82,356			0	0	82,356	鯉城会館
0022	H24.1.24	講演会費	講演謝金(第4回支部講演会)	12,500	69,856			0	0	69,856	K.W. Hipel氏(UW, Canada)
0023	H23.2.1	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	69,436			0	0	69,436
0024	H23.2.2	事務費	表彰状台紙および額縁		5,920	63,516			0	0	63,516
0025	H23.2.2	事務費	支部長賞郵送用袋		500	63,016			0	0	63,016
0026	H23.2.3	事務費	アルバイト謝金(#2連委員会資料、総会はがき)	11,111	51,905			0	0	51,905	川上純平氏(鳥取大学)
0027	H23.2.3	事務費	アルバイト謝金(#2連委員会資料、総会はがき)	11,111	40,794			0	0	40,794	川上優氏(鳥取大学)
0028	H23.2.3	通信運搬費	支部長賞郵送代金		2,400	38,394			0	0	38,394
0029	H23.2.6	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	37,974			0	0	37,974
	H23.2.19	利子	預金利子	13		37,987			0	0	37,987
0030	H23.2.21	研究部会費	研究部会「SCM&サービス工学」		30,000	7,987			0	0	7,987
0031	H23.2.21	通信運搬費	研究部会費振込手数料		420	7,567			0	0	7,567
0032	H23.2.23	通信運搬費	源泉徴収振込手数料		420	7,147			0	0	7,147
0033	H23.2.24	事務費	文房具類(ファイル等)		7,147	0			0	0	0
						0				0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	
						0				0	

## 平成24年度支部役員（案）

(五十音順、敬称略)

役職	氏名	所属	新・再・留任	備考
支部長	大橋 守	徳島大学	(新)	
副支部長	入枝 勝浩	JFEスチール	(留)	
(2名)	大江 隆二	中国電力	(再)	
運営委員	上野 信行	県立広島大学	(留)	
(15名)	小野 孝男	岡山県立大学	(留)	
	梶川 祐朗	株式会社エネルギア・コミュニケーションズ	(留)	
	加藤 浩介	広島工業大学	(留)	
	金指 正和	近畿大学	(再)	
	川勝 英史	尾道大学	(新)	
	高濱 節子	広島修道大学	(再)	
	田村 慶信	山口大学	(新)	
	得能 貢一	鳥取大学	(新)	研究普及委員
	土肥 正	広島大学	(留)	
	中山 慎一	徳島大学	(新)	
	日比野 政彦	安田女子大学	(再)	
	藤江 栄治	中国電力	(留)	
	藤原 一浩	JFEスチール	(再)	
	山岡 祐一	JFEスチール	(再)	
監事	西崎 一郎	広島大学	(再)	
(2名)	福山 敬	鳥取大学	(留)	
幹事	井上 真二	鳥取大学	(再)	
(6名)	宇野 剛史	徳島大学	(新)	
	岡村 寛之	広島大学	(再)	研究普及委員
	小柳 淳二	鳥取大学	(再)	
	佐藤 肇	鳥取大学	(再)	
	谷崎 隆士	近畿大学	(新)	
顧問	海生 直人	広島修道大学		
(3名)	河合 一	鳥取大学		
	山田 茂	鳥取大学		

(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部  
平成24年度活動計画（案）

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 総会                          | 1回                            |
| 2. 運営委員会                       | 2回                            |
| 3. 支部懇親会                       | 2回                            |
| 4. 支部講演会                       | 4回                            |
| 5. 支部定例シンポジウム                  | 1回                            |
| ・もち回り（山陰、山陽、四国）によりH24年度は山陽地区担当 |                               |
| (参考)                           |                               |
| 山陰地区担当                         | 20/12/22 : 実行委員長 山田茂（鳥取大学）    |
| 山陽地区担当                         | 21/11/13 : 実行委員長 亀山嘉正（岡山県立大学） |
| 四国地区担当                         | 22/11/12 : 実行委員長 大橋守（徳島大学）    |
| 山陰地区担当                         | 23/10/28 : 実行委員長 山田茂（鳥取大学）    |
| 6. 協賛・共催研究会等                   | 2回（うち1件：IEICE信頼性（5月）研究会）      |
| 7. 支部研究部会                      | 2部会                           |
| 8. 支部長表彰                       | 若干名                           |

**(社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部**  
**平成24年度予算 (案)**

平成24年度予算		
	予算	備考
(収入の部)		
支部運営費 ①	250,000	
支部事業費 ②	0	
収入合計	250,000	
(支出の部)		
支部運営費		
会議費	45,000	
講演会費	48,000	約¥12,000×4回(謝金・旅費補助)
部会費	60,000	¥30,000×2部会
シンポジウム費	55,000	
通信運搬費	10,000	
事務費	12,000	
協賛費	20,000	¥10,000×2回(うち1件:IEICE信頼性(5月)研究会)
小計③	250,000	
支部事業費		
	0	
小計④	0	
支出合計 ③+④	250,000	
支部運営費残高 ①-③ = ⑤	0	
支部事業費残高 ②-④ = ⑥	0	
当期運営残高 ⑤+⑥	0	

「平成24年度　中国・四国支部研究部会の募集」への応募－研究部会趣意書－

2012. 1. 20

県立広島大学

経営情報学部

上野

**1. 名称：S C M&サービス工学研究部会**

**2. 部会組織**

主査： 県立広島大学経営情報学部 経営情報学科 教授 上野信行  
 幹事： 県立広島大学経営情報学部 経営情報学科 教授 韓虎剛  
          近畿大学工学部情報システム工学科 教授 谷崎隆士  
          広島経済大学経済学部メディアビジネス学科 講師 堂本絵理

**3. 設立趣旨**

従来の「ものづくり分野」「サプライチェーン分野」に加えて、「サービス分野」への生産性向上や振興が期待されている。

本研究部会は、サプライチェーンマネジメント、サービス工学における最新の研究を進めていく。理論研究発表、事例発表などを含めて、ORを適用していくに際しての課題解決や実践的な方法論を討議し、行政、企業のニーズにこたえていくという姿勢で、本研究会が理論と実用の橋渡しの役割を果たしたいと思う。

そのためにも、理論家ののみならず、企業関係者やコンサルなどの実務家の参加を期待している。

以上の趣旨で、平成15年度からつづいている研究会を時代のニーズにあわせて変化させつつも、さらに継続していきたいと考えている。オペレーションズ・リサーチ学会の他支部、他学会と連携を深め会員に最新の話題提供ができるこをを目指している。

**4. 対象分野**

**【応用分野】**

- ・サプライチェーンマネジメント、流通システムの設計・運営（ロジスティックス、マーケティングなど）
- ・サービス工学
- ・生産システムの設計・運用・管理（生産方式、スケジューリング、シミュレーション、MRP、ERP、JIT、APS、スケジューリング、シミュレーションなど）
- ・公共関連（輸送・交通、医療福祉介護システム、資源環境リサイクルシステム、その他）
- ・経営関連（経営戦略、企画、設計、金融財務、組織人事教育、その他）

- ・情報技術（情報化企画、ビジネスプロセスマネジメント、e-ビジネス、セキュリティ、インターネットアプリケーションなど）
- ・その他 OR 関連

#### 【理論分野】

- ・数理計画・最適化技術
- ・シミュレーション・待ち行列理論
- ・確率・統計
- ・意思決定支援技術（多目的計画、AHP、ゲーム理論、その他）
- ・ソフトコンピューティング（ニューロ、ファジィ推論、遺伝的アルゴリズム、進化的計算など）
- ・その他 OR 関連

### 5. 研究部会開催計画

- ・年2回以上の開催を予定している。1回当たり講師2名の研究・講演を行う。
- ・1名は学界から、もう1名は産業界から招聘することを原則にする。  
学界、産業界、行政などから参加者を募ることとしたい。
- ・OR学会本部、他支部や他の学会との主催、共催を図っていく。

### 6. 運営方法

- ・案内は、事前にOR学会会員、今までの参加者へメーリングリストで流す。
- ・関連の学会の支援を依頼し、案内を流してもらう。
- ・研究企画については、幹事が主に担うが、広く参加者からも逐次アイデアを受け、さらに充実したものとしていく。

---

以上

## 研究部会趣意書

名称

地方都市の数理解析

部会組織（主査、幹事等）

主査

福山 敬（鳥取大学大学院工学研究科）

幹事

谷本圭志

小柳淳二

佐藤 豪

### 設立趣意

人口減少・高齢化の中にあり、鳥取に代表される地方都市部は、過疎化する周辺中山間地域の生活機能の中心地としての役割が期待される。数理的アプローチを強調した地方都市問題への研究を活性化するため、今年度スタートした本研究会を来年度も継続したいと考える。

### 対象分野

都市モデル、地域経済分析

### 研究部会開催計画

講師をよんでの研究会3回（7月、10月、2月）開催予定（海外研究者も招へいの予定）。

### 運営方法

鳥取大学大学院社会経営工学講座での研究会を主として研究交流と研究発展を目指す。  
部会組織も同講座内におく。

## H23年度 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 中国・四国支部長賞 受賞者（4名）（順不同）

氏名：高沖陽子（たかおき ようこ）氏

所属：近畿大学工学部 情報システム工学科

卒業論文：「可変型廃棄コストを考慮した製品原価決定支援ツールの開発」

指導教員：谷崎隆士，片岡隆之（近畿大学工学部）

氏名：角本清孝（かどもと きよたか）氏

所属：県立広島大学大学院 総合学術研究科 経営情報学専攻

修士論文：「内示情報を用いた生産計画システムの最適解探索法に関する研究」

指導教員：上野信行（県立広島大学経営情報学部）

氏名：足立 翔人（あだち しょうと）氏

所属：山口大学 工学部 知能情報工学科

卒業論文：「オープンソースソリューションに対する信頼性評価のためのAirアプリケーションの開発」

指導教員：田村慶信（山口大学大学院理工学研究科）

氏名：塩見 亮（しおみ まこと）氏

所属：鳥取大学 工学部 社会開発システム工学科

卒業論文：「ソフトウェアプロセステータの統計的分析と定量的プロジェクト評価法に関する研究」

指導教員：山田茂（鳥取大学大学院工学研究科）